

越後津南 見玉黒滝沢出合(穴藤橋)ボルダー

太田新田ボルダーのメインエリアをトライし始めた頃、帰りにちょっと中津川の穴藤橋付近まで降りて河原にボルダーがないかと探しに行ってみる。穴藤橋を渡り、対岸の穴藤集落付近から黒滝沢出合方面を見ると、幾つか大きめのボルダーが河原に転がっているの見える。行ってみると、出合周辺に10個ほどのボルダーがあり、一部は下地が不安定であったが、全体的にはクリーニングと整備をすればそこそこ楽しめるボルダーであることが確認できた。

その後、3回程行ってみるが、1回目は簡単な全体の整備で、2回目は増水のため条件悪く他のボルダーに転進した。3回目は昨年であったが、穴藤橋工事のため駐車スペースまで入れず断念した。

結局、今年の5月に久しぶりに訪れたが、再整備とクリーニングで時間を費やし、増水もあって易しい課題のみ登って帰った。

その後、6月に再訪すると、予想通り水量が激減していたが、沢の上流部で水田に取水された水の排水があったためか、急に沢の水量が増すことがあった。しかし暫く待つと元の水量に戻りトライに大きな影響は出なかった。

すでに6月になると、河原は夏の日差しで暑く汗ばむ上に、岩陰や木陰は虫が飛び交い、不快なトライ条件であった。何とか我慢して各ボルダーに課題を設定したが、集中したトライができなかったのが心残りである。未だ未解決の課題は残っているが、それでも取り敢えずエリアらしくはなったので今回紹介することとした。

各ボルダーは大小様々だが、河原や沢筋にあるため、雪解け後や大雨後の増水で下地が荒れることが多く、春先暫くは取り付きが水没しているところがあったりで、その都度下地の整備が必要になったりする。

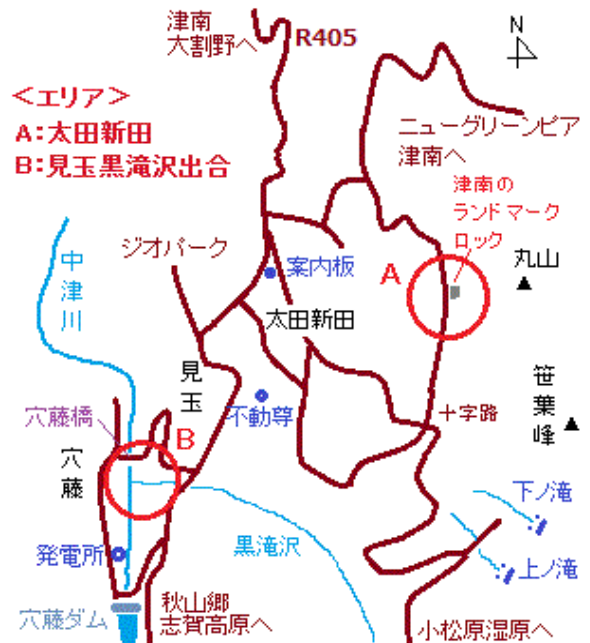
岩質は安山岩で概ねしっかりしているが、取り付きが不安定なところも多いのでクラッシュパッドは必ず使用した方がよい。

シーズンは5月から11月初旬まで。河原のボルダーなので、乾きは良いが、夏は暑い。

アクセスは、津南町大割野から国道405号で見玉まで入ったら、集落の先で穴藤方面に下っていく道に入る。下っていくと穴藤橋があり、橋の手前左側に何台か止められるスペースがある。釣師も利用するので、なるべく詰めて止めるとよい。

アプローチは、橋の脇に河原に降りる踏み跡があり、河原に出ると①と②のボルダーがある。上流方面に進むと黒滝沢出合で、対岸(沢の左岸)に③が見える。水量が少ないと、飛び石伝いに簡単に渡れるが、水嵩があると渡渉か、または駐車スペースから取水口の堰堤を経由するコース(堰堤を跳び越える際は十分注意)もあるので状況により判断することになる。④と⑤は取水口の堰堤下右岸にある。

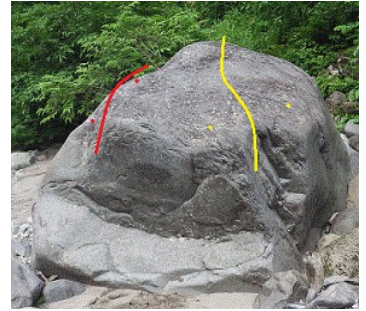
平成30年10月20日 RCT/K



《課題紹介》

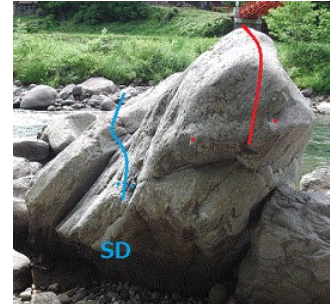
●①の岩(左:下流側 右:上流側)

穴藤橋から踏み跡を降りたところにある岩。上下流側に易しいマントル課題が4本ある。



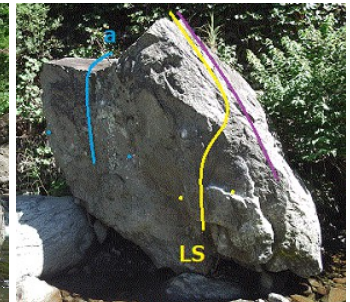
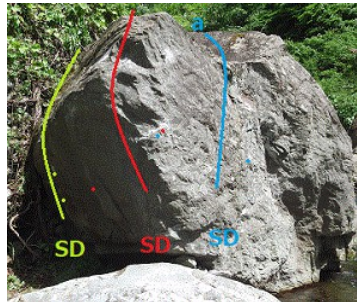
●②の岩(左:川側の岩 右:山側の岩)

河原にある山側がハングした小さな岩。川側の岩の赤ラインのSDは未解決。



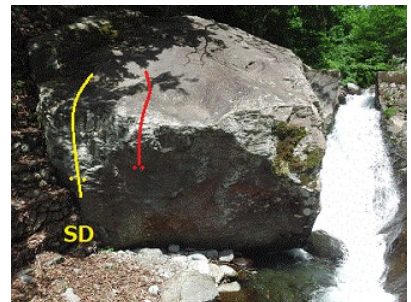
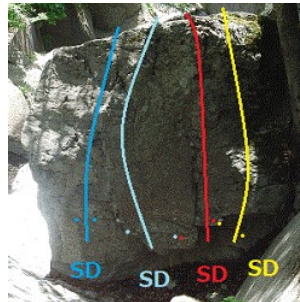
●③の岩(左:下流側 右:上流側)

⑦の対岸(右岸)にある小さな岩。青、黄色、紫ラインは、下手に落ちると水の中なので十分注意。



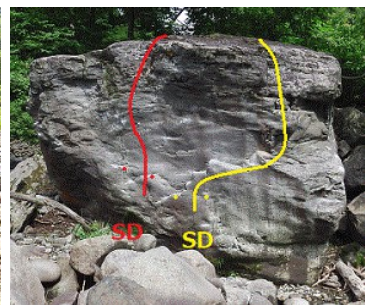
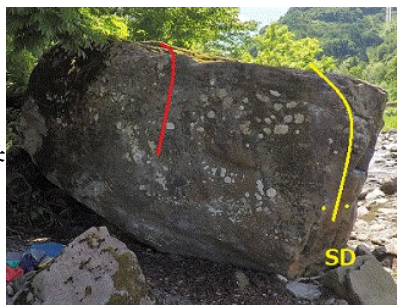
●④飛沫岩(左:上流側 右:下流側)

黒滝沢の取水口のある堰堤下の岩。水量が多いと右の滝からの飛沫がすごい。上流側はスラブで易しい課題が4本。下流側は前傾フェイスで、赤ライン(課題名:虹の架け橋)のSD課題は未解決。



●⑤出合岩
(左:下流側 中央:
川側 右:上流側)

このエリアでは一番大きな岩で高さは4m程ある。川側と上流側の下地は悪いので注意。



下流側の赤ラインは右上のホールドに両手で飛びつく。黄色ラインは岩に腰かけスタートするが、下地が悪いので、最後は左に抜ける。

川側の赤ライン(課題名:柳腰)の左右の限定課題(ライン無し)は未解決。

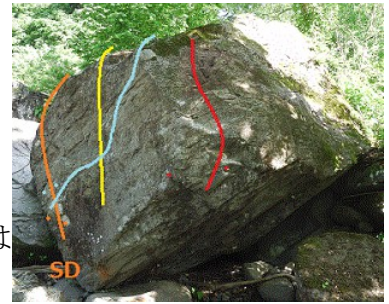
上流側の赤ライン(課題名:なじよもん)は、右上気味に登るが良いフットホールドがない。

●⑥ジオメリー・ロック

ちょっと幾何学的イメージの岩。

現在、川側のフェイスに3本(水色ラインの課題名:ピタゴラスイッチ)、下流側のハングの左側に1本(赤の課題名:ユークリッド)課題があるが、今後難しい課題ができる可能性は十分あり。

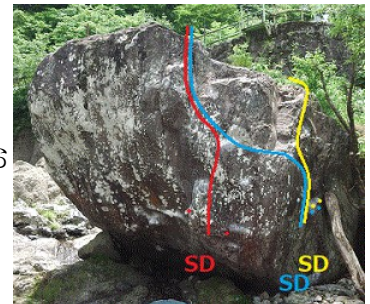
ハングの右端のSD(ラインは入っていない。後ろに石ころがある)は未解決である。



●⑦水門岩

増水後などは下地が流されたり、右の水門からの水量が増して取り付けなくなってしまうことがある。

青ライン(課題名:秋山記行)と赤ライン(課題名:マタギ)がちょっとお奨め。



●⑧の岩(写真:左)

小さなハングとルーフの岩。

右のルーフの岩のマントリングはちょっと手こずった。



●⑨カジカ岩(写真:右)

⑧の上流側にあるハングした岩。

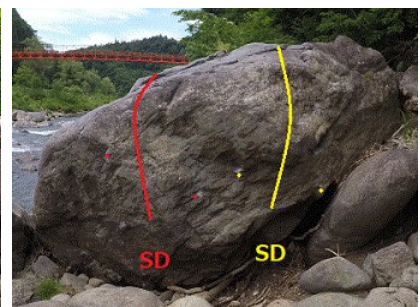
赤ライン(課題名:あんぼ)のスタートは目右手カチ左手ガバで、最後は右上に抜ける。



●⑩の岩(写真:左)

河原にある2段の岩と小さな豆マントル岩。

赤ラインは、左手ハンドジャムで上の岩のリップを取り、そのまま左へトラヴァースしていく。



●⑪の岩(写真:右)

ボルダーエリアの中津川側の最上流部にある岩で上流側に2本課題がある。

下流側もトライしてみたが未解決。肩の故障もあり小カチで引きつけができないが、身長があつて、足がフットホールドまで上がれば十分可能性あり。